

## 耶馬溪プロジェクトへの参加募集

### プロジェクトの趣旨

耶馬溪は中世から羅漢寺が開かれ、奇岩や霊窟のある風景は中国の天台山の光景にも比され、江戸時代中期は、青の洞門が開かれ、文人・墨客が憧れる場所として天下に知られるようになった。やがて、近代観光のはじまりとともに、耶馬溪は大正12年に国の名勝に指定され、四季折々、多く観光客が訪れる場所となった。

平成26年、中津市の耶馬溪、山国川は大水害に見舞われた。このとき、復興議論の中で、耶馬溪三橋の一つで、名勝耶馬溪の要素となっている馬溪橋が水害の原因の一ついわれ、その橋の解体撤去が問題となった。しかし、河川事務所、中津市、地元、学識経験者の委員などの粘り強い議論、検討が行われ、最終的には、水辺に寄り添いながら、その地域の景勝、文化財を活かし、橋を残し、観光、地元浮揚につなげる方向で議論がまとめられた。現在も橋の修理や耶馬溪の地域新興はまさに進行中である。

本プログラムは、その体験を踏まえ、現地、水害を受けた耶馬溪の平田地区や青の洞門地区、羅漢寺などを訪れ、災害と文化財、地域復興に関する経験を学び、今後の復興の在り方を考えることにしてみたい。紅葉の季節1日体験をしてみませんか。

### 実施内容

- 日程 11月23日【水・休日】  
8:30バス車庫集合 帰りの時間17:30 大学着予定
- 青の洞門→羅漢寺→昼食→その後、耶馬溪鉄道の軌道跡を使ったサイクリングロードを使い、名勝を見学するとともに、平田地区で地元の方と意見交換会を行う。
- バス代・自転車代は大学が負担。
- 昼食代は自弁
- 募集人数 32名
- 申込み先 地域連携推進センター（大学事務局）  
申込み書を提出

-----  
(切り取り線)

### プロジェクト申込み書

氏名	学年	学部	学科
連絡先	携帯番号		